

令和6年度 事業計画

I 基本方針

令和6年度は「第4次シルバーフィールドプラン（中期計画）」の最終年度となります。同プランは令和2年度に策定しましたが、開始早々にコロナ禍に見舞われ、計画通りに進めることができませんでした。令和5年度より日常が戻りつつあることから、令和6年度は次の4項目を重点項目と位置づけ、これまでの取組みに新たな内容を追加し、会員拡大や就業機会の確保・開拓等に取組みます。また、令和6年10月頃にはフリーランス新法が施行されることから、それに伴い契約方法の見直しやデジタル化を推進します。あわせて、これまでの取組みを振り返るとともに、今後の社会情勢を踏まえて、令和7年度からの中期計画を策定していきます。

【重点項目】

- 1 会員の増強と育成
- 2 就業機会の拡大と開拓
- 3 経営の健全化
- 4 組織の充実

II 事業計画

1 会員の増強と育成

当センターの最重要課題である会員の増強と育成について、以下の内容を取組みます。

- (1) 会員の獲得・退会抑制
 - ① 新しい会員を紹介した会員へのお礼の連絡及び報奨制度の継続
 - ② 商工会議所の会報及び市広報紙へ会員募集チラシの折込み、市広報紙への会員募集記事の掲載
 - ③ オンライン入会説明会の促進
 - ④ 路線バスのラッピング広告（後部・側面）の実施
 - ⑤ 市民向けスマホ講座の拡充
 - ⑥ 高齢者の集客を狙い、講演会を組み合わせた入会説明会の実施
 - ⑦ 個人情報に留意しながら、事務局と地域班で会員情報を共有し、未就業会員に対する就業情報の提供や未就業相談会等の実施
 - ⑧ ターゲットを絞った会員募集の実施
- (2) 会員の意識・スキルの向上
 - ① 各種研修会のなかで、センターの理念である「自主・自立」「共働・共助」の意義のわかりやすい伝達方法の検討
 - ② スマホを活用した情報共有及び会員サポートの推進
- (3) 高齢会員への対応
 - ① 高齢会員が安全・安心に就業ができる環境の整備
 - ② 高齢会員が集い、自分のペースで就業できる新たな仕事の開拓

(4)女性会員の確保

- ① 女性いきいき推進会議における退会抑制策の検討
- ② 女性対象の講座等の実施
- ③ 女性会員確保に向けた積極的な広報活動の実施

2 就業機会の拡大と開拓

就業機会の拡大と開拓にあたり、事務局と就業開拓員が連携し、安全・安心就業の推進及び会員の技術・技能向上を推進するため、以下の内容を取組みます。

(1) 就業先の開拓

- ① 就業機会拡大会議における高齢会員に対する就業提供の検討
- ② 公共部門へ、シルバーの意義を示しながら、既存の事業の継続及び新規事業の受注の働きかけの実施
- ③ 女性就業開拓員による子育て世代向け業務の拡大
- ④ 除草・剪定業務は個人家庭、配布業務は商店主など、発注者に応じた広報の方法を検討

(2) 女性会員の就業先の確保

- ① 高齢者世帯（特に女性独居世帯）の生活を安価な形で支援する方法を検討
- ② 家事援助サービスを充実させるための方法を検討

(3) 就業の適正化

- ① 全シ協「適正就業ガイドライン」の「シルバー人材センターが提供する業務」の趣旨に基づいて臨・短・軽の原則を順守したローテーション就業の徹底
- ② 全シ協「適正就業ガイドライン」の「会員の就業形態」の趣旨に基づいて、請負委任、派遣の就業形態に沿った契約の徹底
- ③ 全シ協「適正就業ガイドライン」の「適正な料金、賃金、配分金の水準の設定」の趣旨を念頭に置きつつ、高齢会員の特性を踏まえた料金設定の検討

(4) 安全・安心就業の推進

- ① ブロックや職域班等、小規模単位での自転車安全運転講習の継続的実施
- ② 就業関連で車両を利用している会員に対し、安全運転の啓発及び警察や教習所等で実施している運転に関する適性検査の受検の呼びかけの実施
- ③ 事故の多い就業現場はもちろん、比較的少ない現場に対する安全パトロールの実施

(5) 会員の技術・技能の向上

- ① 外部講師による各種講習会の充実
- ② スマホ講座をさらに充実し、地域班や職域班におけるグループLINE活用の推進

3 経営の健全化

事務費の検討や情報公開の推進等、経営の健全化に向け、以下の内容を取組みます。

(1) 事務費の検討

- ① 安定的な経営基盤を確保するため、適正な事務費率の検討

(2) 事務事業の合理化

- ① 会員クラウドサービスを活用した情報提供の推進

(3) 情報公開の推進

- ① サイト運営に協力できる会員を発掘し、情報発信に努める

4 組織の充実

会員組織の充実と運営組織の充実を図るため、以下の内容を取組みます。

(1) 運営組織の充実

① 総務、事業、安全・適正就業の3委員会相互の情報を共有した連携体制の強化

(2) 会員組織の充実

① 地域委員の研修等を充実するとともに地域班活動費の再検討

② 各ブロックの新入会員研修の実施内容把握に努め、課題を検討

③ 事務局及びブロック長・地域委員との連携の強化

④ 他市シルバー人材センターとの女性会員の交流

(3) 事務局組織の充実

① 事務分担の明確化及び、事務マニュアルの整備